

九州経済圏貿易統計のポイントについて (令和8年8月分：速報)

<対世界>

○輸出総額:1兆806億円(伸率: +8.2%) ⇒ 5か月連続のプラス

・順位:20位、8月としては1位

【順位は、昭和54(1979)年1月以降(572か月、8月は48か月)による。以下同じ。】

・増加品目:半導体等製造装置(同+53.6%)、銅及び同合金(同+81.3%)

○輸入総額:9,561億円(伸率: +11.8%) ⇒ 3か月連続のプラス

・順位:16位、8月としては2位

・増加品目:船舶(同579.2倍)、原粗油(同+16.0%)

○差引額:1,245億円(伸率: ▲13.5%) ⇒ 19か月連続の輸出超過

・順位:79位、8月としては6位

為替レート: 2026年8月:160.64円/ドル(2025年8月:147.73円/ドルと比べ8.7%の円安)

<品目別動向>

○輸出

半導体等製造装置(829億円→1,274億円、伸率: +53.6%)は、韓国(319億円→599億円、同+87.7%)及び中国(358億円→466億円、同+30.0%)向けが増加し、6か月連続のプラスとなった。

また、銅及び同合金(254億円→461億円、同+81.3%)は、インド(87億円→159億円、同+82.8%)及び台湾(24億円→65億円、同2.7倍)向けが増加し、8か月連続のプラスとなった。

一方、自動車(2,358億円→2,110億円、同▲10.5%)は、中国(496億円→231億円、同▲53.5%)及び中東(312億円→168億円、同▲46.2%)向けが減少し、5か月ぶりのマイナスとなった。

○輸入

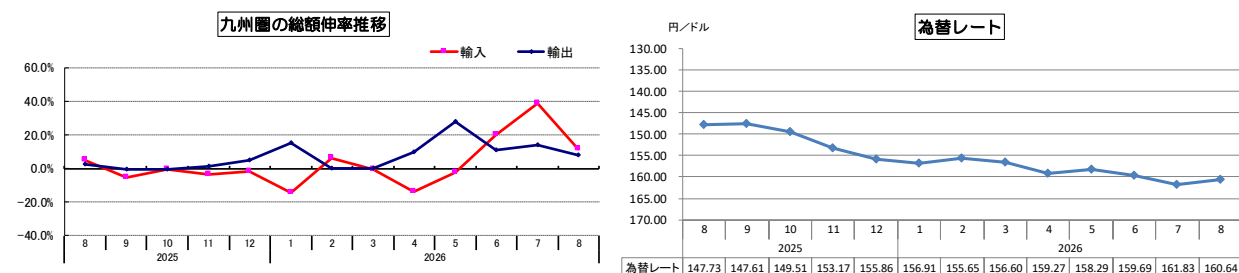
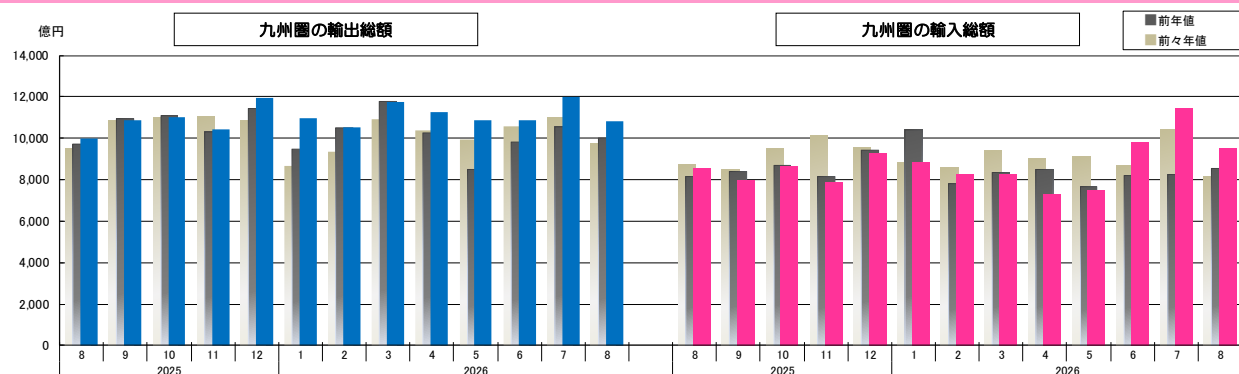
船舶(7千万円→400億円、伸率:579.2倍)は、バハマ(実績なし→400億円)からが増加し、2か月連続のプラスとなった。

また、原粗油(1,711億円→1,984億円、同+16.0%)は、アメリカ(116億円→801億円、同6.9倍)からが増加し、2か月連続のプラスとなった。

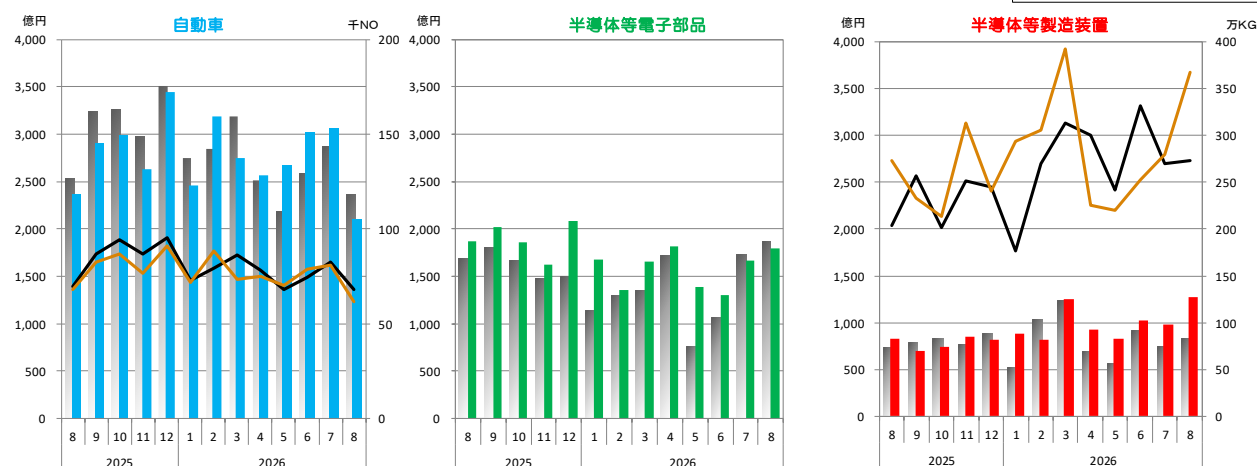
一方、航空機類(531億円→34億円、同▲93.6%)は、アメリカ(529億円→3千万円、同▲99.9%)からが減少し、2か月連続のマイナスとなった。

※ 伸率及び増加・減少は、すべて対前年同月比

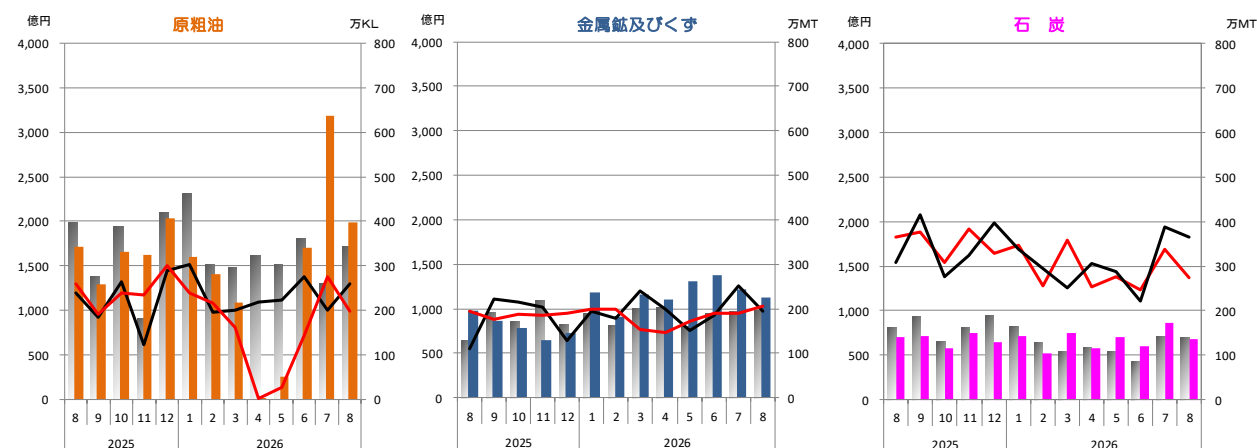
令和8年8月分：速報



九州圏の輸出主要品目推移



九州圏の輸入主要品目推移



※この内容を引用されるときは、「門司税関発表による」と付記してください。